

取扱説明書



Super
ラビット SV



緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 J コーポレーション
総合窓口 電話 0742-53-7833



〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F
<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795

※緊急地震速報配信業者:株式会社ドリームウェア(地震動の予報業務許可事業者 許可第 148 号)

目次

目次	2
◆ 第 1 章 安全上のご注意	
・安全にお使いいただくために	4
・この取扱説明書の表記について	5
◆ 第 2 章 ご利用になる前に	
・緊急地震速報とは	13
・注意事項	13
・緊急地震速報の発信条件	14
・必要ネットワークについて	14
・震度と揺れ等の状況(概要)	15
・日ごろからの対策	16
・梱包物一覧	16
・実際に地震が発生した場合の行動要領	17
◆ 第 3 章 各部の名称	
・各部の名称	18
・外部機器制御接続端子図	18
◆ 第 4 章 接続の準備	
・ご用意頂くもの	19
・配線方法	19
・スタンドの配置方法	19
◆ 第 5 章 地震発生時の挙動	
1. 緊急地震速報中画面	20
2. 緊急地震速報キャンセル画面	20
3. 通信異常画面	20
◆ 第 6 章 基本操作	
1. 本体を起動する	21
2. キースイッチの操作方法	21
3. テスト音声の再生	21
4. 地震履歴を見る方法	21

目次

5. トリガ履歴を見る方法	21
6. 設置場所住所 緯度/経度/地盤増幅率	21
7. コード表示	21
8. 端末 ID 表示画面	22
9. WAN IP アドレス表示画面	22
10. 接続先サーバーIP アドレス表示画面	22
11. 登録サーバーIP アドレス表示画面	22
12. 登録サーバーIP アドレスの変更	22
13. ソフトバージョン表示画面	22
・ 制御端子への負荷接続について	22

◆ 第 7 章 各種設定変更の方法

・ 設定表示画面を選択する	23
・ 設定表示画面から各項目の設定変更を行う	23
1. 速報時端子の閾値	24
2. 音声の閾値	24
3. 警報時端子の閾値	24
4. 端子自動 OFF 信号の閾値	25
5. D 端子パルス幅の閾値	25
6. 通信障害検知時間の変更	25
7. 通信障害リカバリー時間の変更	26
8. 継続時間の変更	26
9. 休止時間の変更	26
10. 休止信号設定 1 (ABC 端子) の変更	27
11. 休止信号設定 2 (D 端子) の変更	27
12. 音量の変更	27
13. 起動タイマーの変更	27
14. メッセージタイプの変更	28
15. LCD バックライトの変更	28
16. ラインイン設定の変更	28
17. 時報設定の変更	28
18. テスト 1 設定の変更 (含む 19)	29
20. テスト端子制御の変更	29

◆ 第 8 章 困ったときは

◆ 第 9 章 Q&A

◆ 第 10 章 仕様

➤保証書

■ 安全にお使いいただくために

本取扱説明書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本取扱説明書を熟読してください。特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本取扱説明書は本製品を使用中いつでも、ご覧になれるよう大切に保管してください。

◆ 保証書について

1. 保証書は、必ず必要事項を記入し内容をお読みください。その後、大切に保管してください。
2. 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
3. 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理または交換いたします。
4. 保証期間内にあっても、保証書の提示がない場合や天災あるいは無理な使用による故障の場合などには修理交換いたしかねますこと、ご了承ください。(詳しくは、別途付属保証書の保証規定をご覧ください。)

◆ 本製品の用途について

本製品は、一般事務用、家庭用などの一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する、重要な危険性を伴う用途を言います。

● 原子力施設における核反応制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療本機器など。

◆ 注意

1. 本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
2. 本製品は、取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。
3. 本製品には有寿命部品が含まれています。
4. 製品に使用しているアルミ電解コンデンサーは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
5. 部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
(消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます)
6. 本製品の使用環境は、温度0~40℃(動作時) / -10~60℃(非動作時)・湿度10~80%RH(ただし、結露しないこと)です。
7. 本製品は、日本国内での使用を前提に製造されています。海外では使用できません。
8. 本製品の構成部品(プリント基板、液晶ディスプレイなど)には、微量の重金属(鉛、クロム、水銀)や化学物質(アンチモン、シアン)が含有されています。
9. 本製品の電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

■ この取扱説明書の表記について

◆ 電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されているACアダプターの電源プラグは「平行2極プラグ」です。

本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

◆ 安全にお使いいただくための絵記号について

本取扱説明書では、いろいろな絵記号を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、ご利用のお客自身や他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを表しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを表わしています。

また、危害の内容がどのようなものかを表わすために、前ページの絵記号と同時に次の記号を使っています。



⚠で表した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。その横には、具体的な警告内容が示されています。



⊘で表した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。その横には、具体的な禁止内容が示されています。



Ⓢで表した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。その横には、具体的な禁止内容が示されています。

◆ 異常や故障のとき



警告

本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなったことを確認して、お問合せ窓口にご連絡ください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなったことを確認して、ご連絡ください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



ACアダプターの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

◆設置されるとき

**警告**

使用できる電源は交流100Vです。

それ以外の電圧では使用しないでください。

電圧の大きさにより内部が過熱したり、劣化して感電・火災の原因になります。



同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。

コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると窒息の原因となります。



外部制御機器と接続される時は、本取扱説明書および外部制御機器の取扱説明書をよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。
また、本体および外部制御機器が故障する原因となります。


注意


振動している場所や傾いた場所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が落下して、けがの原因となります。

本製品を移動する場合は、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

ACアダプターの電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

◆ご使用になるとき

警告


濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



ACアダプターの電源プラグにドライバーなどの金属を近づけないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプターは、次のことに注意してお取り扱いください。
感電・火災もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

- ・絶対に分解しないでください。
- ・浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所のそば、湿気の多い地下室、水泳プールのそばやほこりの多い場所で使用しないでください。
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
- ・布団の上や中など熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。
- ・上に物を置かないでください。
- ・必ず付属のコードセット(電源コード)を使ってください。
- ・他の機器に使用しないでください。



マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本機器の近くで使わないでください。

本機器の中に入って引火すると火災の原因となります。



浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、水を使用する場所のそば、湿気の多い地下室、水泳プールのそばやほこりの多い場所では使用しないでください。

電気絶縁の低下によって感電・火災の原因となります。
本体内部にほこりがたまることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因となります。



本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。



コネクターなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



取り外したキャップなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れないでください。
感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出しそうなときは、ACアダプターやケーブル類を取り外し、雷が鳴り止むまで取り付けないでください。



添付もしくは指定された物以外のACアダプターの電源コードを本製品に添付のACアダプターや電源コードを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



ACアダプター本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

電源コードの芯線が露出したり脱線したりして、感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で修理・分解・改造しないでください。

感電・火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、お問合せ窓口にご連絡ください。



ACアダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードや電源プラグが傷つき、感電・火災の原因となります。

 **注意**

本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となることがあります。



本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品を直射日光が当たる場所、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



使用中の本体やACアダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**警告** るとき

ACアダプターや電源プラグはコンセントから時々抜いて、コンセントの接続部分およびACアダプターと電源コードの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると、感電・火災の原因になります。
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認してから差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- ・グラグラしないコンセントを使ってください。



本製品の各種端子には弊社または販売元が指定したケーブル、コネクター以外の物は差し込んだり、挿入しないでください。

故障、感電・火災の原因となります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると、発煙、感電・火災の原因となります。
使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



液晶ディスプレイ部の破損

液晶ディスプレイ部はガラスでできています。液晶ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。



目的以外の使用。

踏み台やブックエンドなど、本来の目的以外に使用しないでください。
壊れたり、倒したりし、けがや故障の原因となります。



信号ケーブルについて

- ・ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。
- ・足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因となります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。



電波障害について

- ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。
- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
 - ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。



心臓ペースメーカーを装着時の使用

- 心臓ペースメーカーの装着部分から 22cm 以上離してご使用ください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

◆その他



警告



本製品または電池の廃棄については、一般廃棄物の扱いとなります。各地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規則を受けます。本製品はリチウム電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投げると破裂のおそれがあります。

緊急地震速報とは

1. 地震の揺れの仕組み

地震が発生するとP波(初期微動)およびS波(主要動)と呼ばれる2つの波が地中を伝播します。この波の伝播速度はP波のほうがS波より速いため、初めにP波が伝わり、それから「主要動」と呼ばれる大きな揺れをもたらすS波が伝わってきます。

2. 「緊急地震速報(予報)」システム

日本全国にある約4,000ヵ所の地震計を利用し、地震発生時には震源に近い観測点(地震計)でこのP波をとらえます。そのデータから直ちに震源(経度・緯度)、地震の規模(マグニチュード)を推定し、これを情報として迅速に利用者に提供するシステムを「緊急地震速報」と言います。

3. 緊急地震速報(予報)報知

本製品はこの情報を受信し、設置している地点の各種情報(経度、緯度、地盤増幅度※1)をもとに実際に起こる地震の大きさ(震度)と到達までの時間(猶予時間)を予測演算し予報を行います。

※1 地盤増幅度 … 表層地盤の構造(硬さ)をもとに揺れの伝わる割合を表わすものです。

注意事項

緊急地震速報(予報)の原理的限界等のため、情報のご利用に当っては、次のようなおそれがありますので、事前の十分なご理解が不可欠です。予めご了承下さい。

1. 震度、到達猶予時間などの予測演算数値には誤差があります。
2. 緊急地震速報の報知から大きな揺れが到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短い時間です。
3. 震源に近いところでは地震到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。(直下型)
4. ごく短い時間のデータだけを使った情報であることから、予測結果に誤差を伴う場合があります。(報知しない場合があります。)
5. 震源の深さが150km以上深い場合(深発地震)は予測結果に大きな誤差を含む事があります。(報知しない場合があります。)
6. 短い間隔で複数の地震が発生した場合、震源の特定が困難となり予測結果に大きな誤差を含んだり予測できない事があります。(複数地震の同時発生、報知しない場合があります。)
7. 落雷、事故、機器の故障等により、誤報を発生する可能性があります。
8. 緊急地震速報は、サービス品質および、正確性(地震発生時に必ず情報が伝達および、報知されること、情報の伝達が地震の到達の前に必ず間に合うこと、誤報、誤差が生じないことを含む)について一切保証されません。
9. 緊急地震速報について十分理解し、日頃から、地震を想定した行動マニュアルの整備や、定期的な避難・防災訓練の実施に努めてください。

■ 緊急地震速報の発信条件

- 気象庁の多機能型地震計設置のいずれかの観測点において、P波またはS波の振幅が100ガル以上となった場合。(※1)
- 解析の結果、震源・マグニチュード・各地の予測震度が求まり、そのマグニチュードが3.5以上、または最大予測震度が3以上である場合。なお、この基準は変更する場合があります。

(※1) 1点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報を発信した後、所定の時間が経過しても2観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒～10秒程度でキャンセル報(予報の取消し)を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに30秒程度がかかることがあります。

■ 必要ネットワークについて

接続にあたって必要となりますネットワーク環境、および機器類(ルーター・ハブ等)はお客様にてご用意ください。

- ・インターネット回線：光・CATV
- ・LAN端子：RJ-45 カテゴリー5以上 1ポート
- ・ルーター：必要 (固定IPの場合は、別途ラビット専用のルーターが必要です。)
- ・インターネットプロトコル：IPv4 自動IP取得の場合は、DHCPサーバーが必要
- ・セキュリティーポート・ポリシー：TCP：9001 UDP：53 LAN⇒WAN開放
- ・通信速度：接続ポートより、ストレスなくインターネットが閲覧出来るのであれば、安全に利用出来ると判断致します。

※受信端末用に、専用回線を準備する場合には、プロバイダー契約をお忘れにならないよう、ご注意ください。

※緊急地震速報 配信サーバー側のグローバルIPアドレスが必要な場合は弊社までお問合せ下さい



本製品は、お客様の地震による被害を極力少なくするためのものであり、お客様の財産や命を守るためのものではありません。実際に地震が発生したのために、避難経路などを確認し、日頃から地震対策を十分に行ってください。



緊急地震速報の受信は、お客様自身の自己責任でなされるものであり、弊社および販売元は、使用によって発生したいかなる損害(速報内容の誤報により生じた損害を含み、直接損害・間接損害の別を問わない)やその修理費等に関して、一切の責任を負いません。

■ 震度と揺れ等の状況（概要）

震度 0	人は揺れを感じない。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
震度 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 殆どの人が驚く。 ・ 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ・ 座りの悪い置物が、倒れることがある。
震度 5 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ・ 棚にある食器類や本が落ちる事がある。 ・ 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
震度 5 強	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物につかまらなると歩くことが難しい。 ・ 棚にある食器類や本が落ちる事が多くなる。 ・ 固定していない家具が倒れることがある。 ・ 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立っていることが困難になる。 ・ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ・ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ・ 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある、倒れるものもある。
震度 6 強	<ul style="list-style-type: none"> ・ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ・ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ・ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ・ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ・ 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ・ 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

■ 日ごろからの対策

地震は、いつどのような規模で起こるかわかりません。

せっかくの緊急地震速報も、事前の準備ができていなければ利用価値が半減してしまいますので以下を参考に、お客様自身で事前の準備を十分に行ってください。

1. 家具が倒れたり、上にあるものが落ちたりすると、けがをするばかりでなく、避難時の障害にもなります。市販の固定器具などを利用し、家具の固定・転倒防止をしておきましょう。また、棚の上のものは容易に落下しないようにしておきましょう。
2. 寝室など常時いるような場所は、倒れやすいものを置かず、避難経路を確認しておき、非常時はすぐに避難できるようにしておきましょう。また、近くに靴やスリッパを常備しておきましょう。
3. 非常時の用意
消火器・ハンマー等、避難経路の確保に必要なものは、すぐに取り出せる所にひとまとめにしておきましょう。
4. 非常時の持ち出し品の用意
食料品関係・貴重品・衣類・靴・防災用品・照明器具・医療用品・携帯電話・簡易充電器なども、すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。
5. 家族で話し合いをして、非常時の避難経路や非難場所を決めておきましょう。

■ 梱包物一覧

本体 ×1 台

AC アダプター ×1 個

平置きスタンド ×1 個

かんたん操作マニュアル ×1 冊

取扱説明書(保証書含む) ×1 冊

■ 実際に地震が発生した場合の行動要領

◆ 緊急地震速報の受信時、および地震発生時

まずは身の安全の確保	周りの人に地震が来ることを知らせながら、倒れやすい家具などから離れ、丈夫なテーブル・机の下に隠れてください。
火元の始末 (そばに居る場合)	ガスコンロなどの火を止める。また、電熱ヒーターなどの熱源となる本機器の電源も切ってください。火元（暖房・調理器具など）から離れている場合は、無理に近づくとかえって危険が従う（熱くなった油やお湯などをかぶって火傷をする）ので、揺れが収まってから消すようにしましょう。

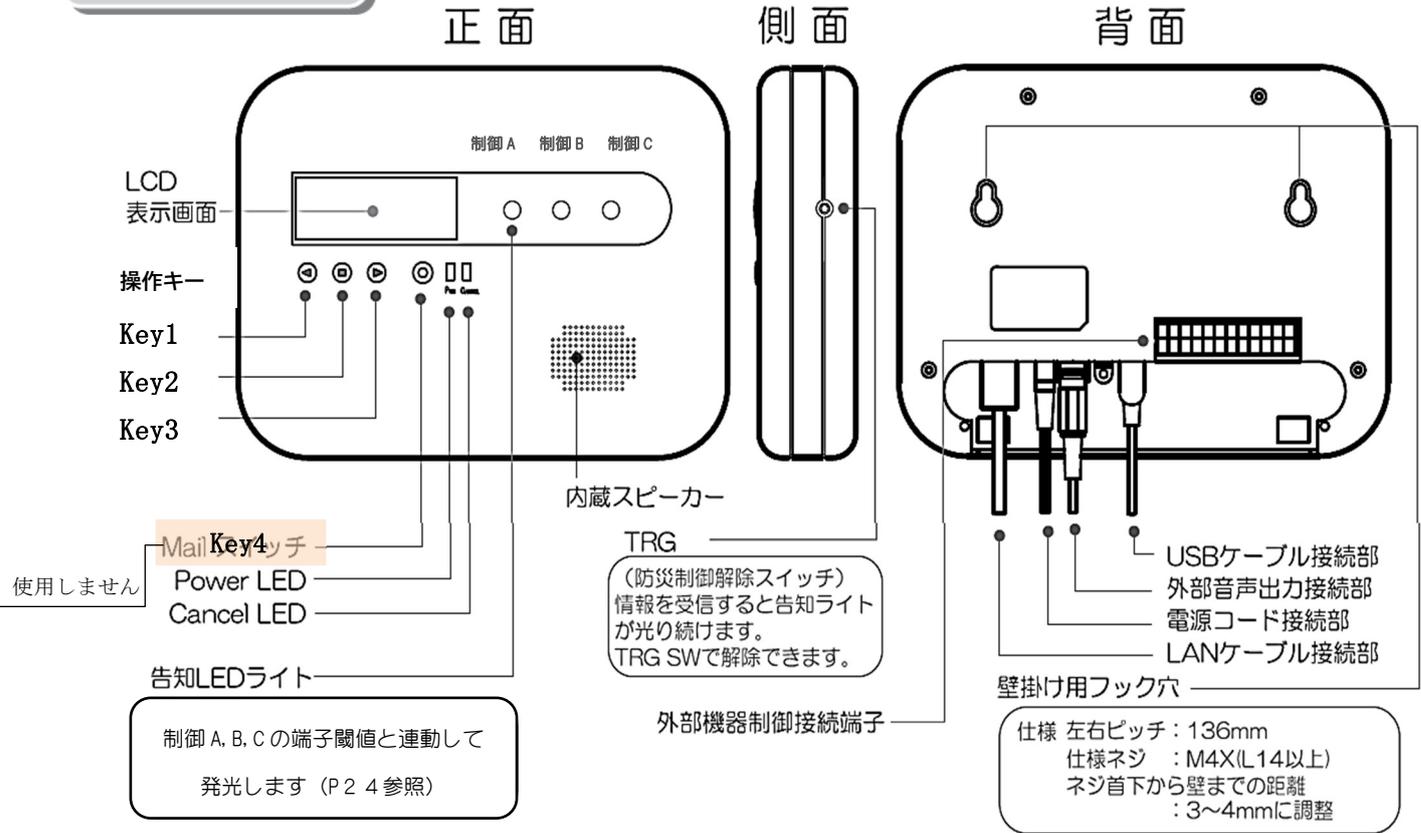
◆ 地震発生後（揺れが収まったら）

避難経路の確保	避難の開始	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスの元栓を閉め、ブレーカーも切ってください。 ・家に避難先や安否情報をメモしたものを残していくようにしてください。 ・避難は、必ず徒歩で行い、車などの使用を避けてください。 ・割れたガラスなどに注意してください。また、漏電・ガス漏れにも注意してください。
	火の始末	火が出ているのであれば、すぐに初期消火してください。一人で手に負えないようであれば、すぐに近所に協力を求めるようにしてください。

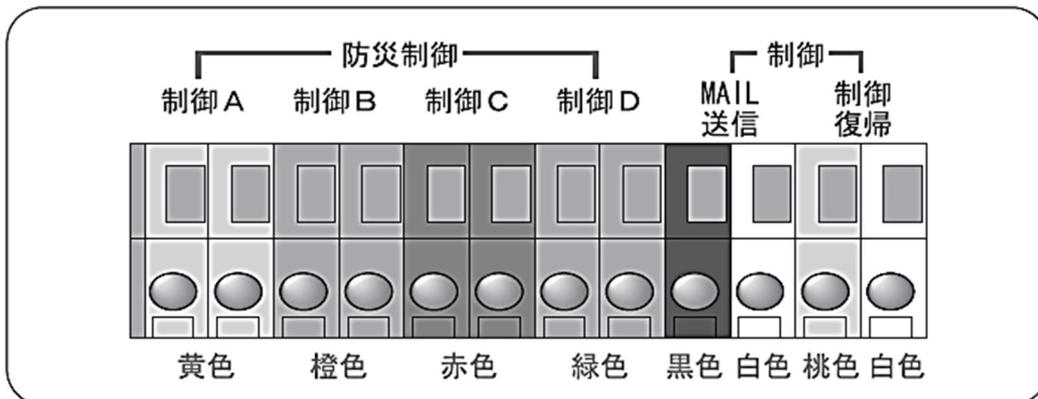
◆ 正しい情報収集と余震・津波への対応

正しい情報収集	デマ情報に惑わされず、テレビ・ラジオ等で正しい情報を得て、的確に行動するようにしてください。
余震に注意	比較的大きな地震が発生すると、その近くで再び地震が発生します。この地震のことを「余震」と言います。大きな地震が収まったからといって、倒れやすいもののそばに近寄ったりしないでください。
津波に注意	震源が海底・海岸沿いの場合、津波が発生する可能性があります。海岸に近い場所にいる場合は、揺れが収まった後にできるだけ高い場所（高台や鉄筋の建物の4階以上のフロアなど）に避難して下さい。テレビやラジオの情報に注視して的確に行動して下さい。予想を超える大きな津波が来る場合があります。

各部の名称



外部機器制御接続端子図

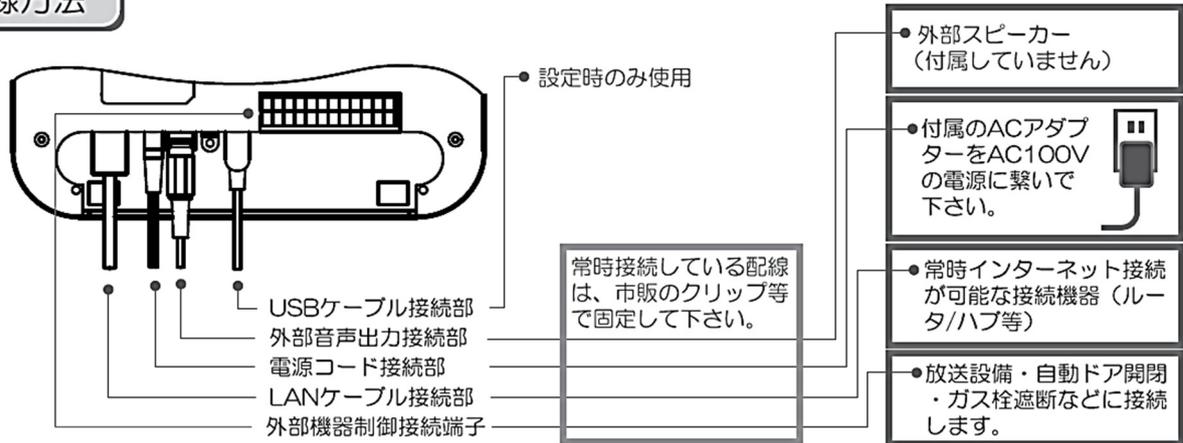


など)

ご用意頂くもの

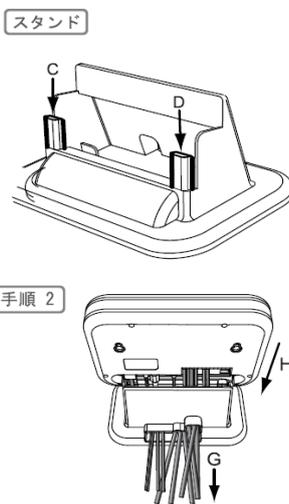
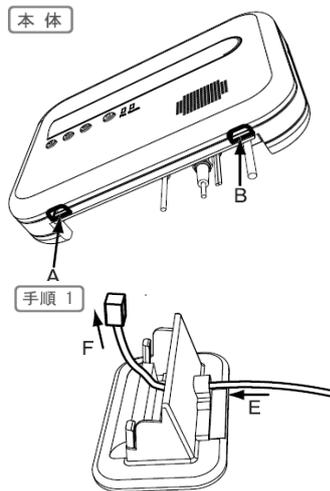
- 本製品をご利用いただくためには、常時接続のインターネット環境が必要です。(FTTH・CATV などダイヤルアップ接続以外の回線をご用意下さい。)
 - インターネット接続にあたって必要となるネットワーク環境、及び接続機器(ルータ/ハブ等)は、お客様の方で用意下さい。
- ※LAN 環境では IP アドレスが自動取得出来る様にして下さい。また、ファイアーウォール等の設定を外して下さい。
- ※固定 IP をご利用になる場合には、弊社までご連絡下さい。

配線方法



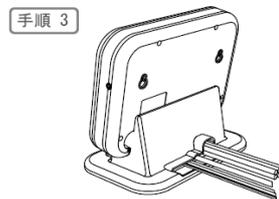
本体とスタンドの組立ては、下記手順に従って本体 AB の穴にスタンド CD の爪を差し込んで下さい。

スタンドの設置方法



棚などに固定する場合は、スタンド底面に 2 箇所の M4 ネジ用貫通穴をあけてありますので、M4 のネジを使用して固定して下さい。

ネジは付属していません。設置場所に合わせて準備して下さい。



スタンド背面から全てのケーブルを上図 E→F 方向に通して下さい。

本体に各ケーブルをつなぎ、ケーブルが噛み込まない様に G 方向に軽く引っ張りながら A と C、B と D を合わせ H 方向に組み付けて下さい。

ケーブルを揃え、本体とスタンドが完全に差し込まれていることを確認して設置完了です。

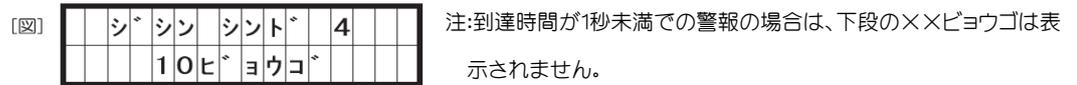
地震発生時の挙動

1.緊急地震速報中画面

緊急地震速報電文を受信し、警報を出す画面です。

この画面の秒表示は、1秒毎に表示されカウントダウンされる。

震度の表記は、震度 3:3、震度 4:4、震度 5 弱:5L、震度 5 強:5H、震度 6 強:6H、震度 7:7 のようになります。

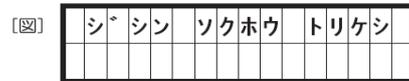


動作音声例：緊急地震速報。およそ〇秒後に震度〇程度の地震がきます。・・・5、4、3、2、1

揺れが収まるまで身を守って下さい

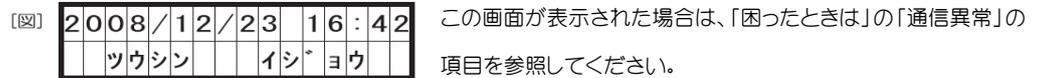
2.緊急地震速報キャンセル画面

警報・注意報電文を受信し、警報を発生している時の画面です。



3.通信異常画面

定期的に時刻設定電文を受信できない状態が続くと、通信エラーになります。この状態では、次の画面が表示されます。



基本操作

1. 本体を起動する

- ① 本体とLANケーブルを接続する。
- ② 外部電源のプラグを本体に繋ぐ。
- ③ 画面が点灯し、画面にhello!の文字が表示される。
- ④ 「ジョイイドゥカ」が表示されれば、起動が完了です。

2. キースイッチの操作方法

← 本体操作ボタンのデザインを説明書では簡略化し、下図の様に表しています。ボタンの機能と合わせてご確認ください。

◀ 短押 (メニュー選択: 左に: 変更等) 履歴の表示	▶ 長押 (テスト画面立上時に使用)
■ 短押 (メニュー選択: メニューに戻る等) 基本情報の表示	◻ 長押 (端末設定時に使用)
▶ 短押 (メニュー選択: 変更等) 各種設定変更画面の表示	▶ 長押 (端末設定時表示切替等に使用)
● 短押 (使用しません) (メールを送ります) この機能はオフションです。	キーの[長押] 2秒ほどしっかり押して下さい。 キーの[短押] しっかり一回押して下さい。

3. テスト音声の再生 (以下3~13のキー操作手順は、全てアイドル画面から操作を開始した場合の手順です。)

- ① ● [長押] をしたまま、◻ を [短押] する。
- ② 本体中央右のライトが点灯し、音声メッセージが流れます。 ※テスト2は ▶ [長押] をしたまま、▶ を [短押] する

【図】

テ	ス	ト	シ	ン	シ	ン	ト	4
			1	0	ヒ	ョ	ウ	コ

 この図のような画面が表示されます。

※テスト報知途中、key3 ▶ を [短押] すると報知の停止ができます。

- ③ 以上でテストは完了です。テスト後10秒以上キー操作なしで、アイドル画面に戻ります。
- ※ テスト1及びテスト2で読み上げる震度、猶予時間はテスト1 (テスト2) 設定メニューで変更できます。
- テスト内容: テストです。緊急地震速報およそ〇秒後に震度〇程度の地震がきます。

4. 地震履歴を見る方法

端末に記録されている地震履歴5件を順次表示します。「リキ1」の添え番号が若いほど最近の地震情報を示しています。

- ① ◀ を一回 [短押] で、最新の地震履歴を表示します。
- ② ◀ で最も古い地震履歴表示へ移ります。▶ でひとつ古い履歴へ移ります。
履歴表示はループしていますので、一番古い履歴の次は一番新しい履歴になります。
- ③ ◻ キーを [短押] でもとの画面に戻ります。

5. トリガ履歴 (外部機器へ作動指示を出力したかの履歴) を見る方法

端末に記録されているトリガ履歴10件を順次表示します。
「トリガ1」の添え番号が若いほど最近のトリガ情報を示しています。
なお、表示桁の関係上10番目の履歴 (最も古い履歴) は、「トリガ0」と表示されます。
年月日、時分は、トリガ信号がOFFからONに変化した時間を示します。

- ① ◀ を一回 [短押] する。
- ② ◻ を一回 [短押] で、最新のトリガ履歴を表示します。
- ③ ◀ で、最も古いトリガ履歴表示へ移ります。▶ で、ひとつ古い履歴へ移ります。
トリガ履歴表示はループしていますので、一番古い履歴の次は一番新しい履歴になります。
- ④ ◻ キーを [短押] でもとの画面に戻ります。

6. 設置場所住所 経度/緯度/地盤増幅率

- ① ◻ を1回 [短押] すると表示されます。
- ② 通常画面へ戻るときは、◻ を一回 [短押] します。
- ※ 電文を受信していない場合は、数字の部分が全て「0」で表示されます。

7. コード表示 (気象庁が定めた区域コード番号)

- ① ◻ を1回 [短押] すると表示されます。
- ② 通常画面へ戻るときは、◻ を一回 [短押] します。

使用しません

各種設定変更の方法

1. 速報時端子の閾値 地震速報を受信した時の制御用端子出力閾値の設定を変更します。

- ①

2008/12/23	16:42
シヨウタイ	トウサチュウ

 アイドル画面で、▶を短押しします。
- ②

ソクホウ	A	B	C
	3	4	6L

 「1.速報端子制御」表示画面になります。●を長押しします。
- ③

ソクホウ	A	B	C
	3	4	6L

 「1.速報端子制御」設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にブリンクカーソルが現れますので、もう一度●を長押しします。
- ④

ソクホウ	A	B	C
	2	4	6L

 ブリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして数値を変更して下さい。◀は値が小さくなり▶は値が大きくなります。値を決めたら●を短押しして、ブリンクカーソルに戻して下さい。
- ⑤

ソクホウ	A	B	C
	2	4	6L

 ブリンクカーソルを▶でAからBに移動します。●を長押しして下さい。
- ⑥

ソクホウ	A	B	C
	2	3	6L

 Bがアンダーカーソルに変わります。④と同じ要領にて◀▶短押しして数値を変更し、●短押ししてブリンクカーソルに戻ります。③④の繰り返しでCの値とLの値も変更出来ます。数値変更が終了したら、●を短押しして「速報端子制御」表示画面に戻して下さい。
- ⑦

ソクホウ	A	B	C
	2	3	6L

 「速報端子制御」表示画面から、◀▶を短押しして、その他の表示画面に移動し設定を行うことが出来ます。設定を終了する場合は、●を短押ししてアイドル画面に戻して下さい。この際に間違えて●長押しになってしまうと、全ての変更が破棄されますので、注意して下さい。

2. 音声の閾値 地震速報を受信した時に音声を鳴動させる震度閾値の設定を変更します。

- ①

2008/12/23	16:42
シヨウタイ	トウサチュウ

 アイドル画面で、▶を2回短押しします。 ※閾値以下の場合、音声は出ません
- ②

オンセイ	シキイチ		
			6L

 「2.速報音声鳴動閾値」表示画面になります。●を長押しします。
- ③

オンセイ	シキイチ	セツテイ	
		6L	

 「2.速報音声鳴動閾値」設定画面に移動し、アンダーカーソルが現れますので、◀▶を短押しして数値を変更して下さい。◀は値が小さくなり▶は値が大きくなります。数値変更が終了したら、●を短押しして「2.速報音声鳴動閾値」表示画面に戻して下さい。
- ④

オンセイ	シキイチ		
		3	

 「2.速報音声鳴動閾値」表示画面から、◀▶を短押しして、その他の表示画面に移動し設定を行うことが出来ます。設定を終了する場合は、●を短押ししてアイドル画面に戻して下さい。この際に間違えて●長押しになってしまうと、全ての変更が破棄されますので、注意して下さい。

3. 警報時端子の閾値 警報・注意報受信時に、各端子の信号を動作させるか否かを変更します。

- ①

ケイホウ	A	B	C
	ナシ	アリ	ナシ

 アイドル画面（以後アイドル画面図省略）で、▶を3回短押しします。「3.警報端子の閾値」表示画面になります。
- ②

ケイホウ	A	B	C
	ナシ	アリ	ナシ

 ●を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にブリンクカーソルが現れますので、もう一度●を長押しします。
- 使用しません**
- ③

ケイホウ	A	B	C
	ナシ	アリ	ナシ

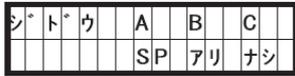
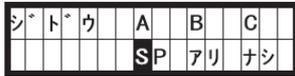
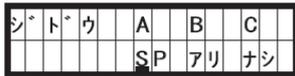
 ブリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後●を短押しして、ブリンクカーソルに戻りAからB・Cに移動します。●を長押しして下さい。③の操作繰り返しでB・Cも設定します。
- ④

ケイホウ	A	B	C
	アリ	アリ	アリ

 数値変更が終了したら、●を短押しして「3.警報端子の閾値」表示画面に戻して下さい。もう一度●を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意は上項の各作業と同様です。

各種設定変更の方法

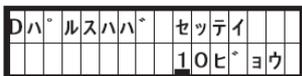
4. 端子自動OFF信号の閾値 各端子の信号のOFF制御のモードを変更します。

- 
 アイドル画面で、▶を4回短押しします。「4.端子自動OFF信号の閾値」表示画面になります。
- 
 ◻を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度 ◻を長押しします。
- 
 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして「SP」「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして、プリンクカーソルに戻りAからB・Cに移動します。◻を長押しして下さい。③の操作繰り返してB・Cも設定します。
- 
 数値変更が終了したら、◻を短押しして「4.端子自動OFF信号の閾値」表示画面に戻して下さい。もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同様です。

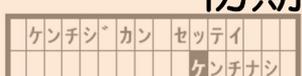
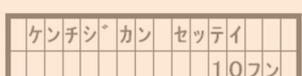
※設定内容の説明

- 「ナシ」----- 信号OFFを手動で行います。
地震速報を受けた後、起動タイマー設定（後項掲載）の時間が経過して信号がONされます。信号のOFFは、TRG-RSTスイッチや外部からの信号などで行います。
- 「アリ」----- 速報等通報が終了すると信号を自動的にOFFします。
速報を受けた後、起動タイマー設定の時間が経過して信号がONされます。地震速報を受け音声の読み上げ等が鳴り止むと自動的に信号もOFFします。キャンセル報を受信したら即信号は停止します。
- 「SP」----- 速報メッセージ等の読み上げ音声に合わせて信号を自動的にOFFします。
速報を受けた後、起動タイマー設定の時間が経過して信号がONされます。地震速報を受け音声読み上げが鳴り止むと自動的に信号もOFFします。「アリ」の場合とは異なり、キャンセル報を受けてキャンセルメッセージ読み上げ中もONを維持し音声の出力が無くなった時点で信号はOFFされます。（スピーカー制御用信号）

5. D端子パルス幅の閾値 キャンセル報受信時のD信号に出力するパルスの幅を設定変更します。

- 
 アイドル画面で、▶を5回短押しします。「5.D端子パルス幅の閾値」表示画面になります。
 - 
 ◻を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にアンダーカーソルが現れますので、◀▶を短押しして数値を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして、「5.D端子パルス幅の閾値」表示画面に戻り、もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。
- ※設定内容変更中、1以下若しくは10以上の設定は出来ません。キーを押し続けてもキー操作は無視されます。

6. 通信障害検知時間の変更 通信障害検知時間の設定を変更します。

- 
 アイドル画面で、▶を6回短押しします。
- 
 「6.通信障害検知時間の変更」表示画面になります。◻を長押しします。
- 
 「6.通信障害検知時間の変更」設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れます。この状態で、◻キー1・キー3の何れか長押しすることで検知時間初期値を初期値に変更しないで下さい。
- 
 「6.通信障害検知時間の変更」設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れます。この状態で、◻キー1・キー3の何れか長押しすることで検知時間初期値を初期値に変更しないで下さい。
- 
 検知時間を変更する場合は③の表示状態で ◻長押しするとプリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして数値を変更して下さい。数値変更後 ◻短押しして確定するとプリンクカーソルに戻ります。プリンクカーソルを ◻▶で移動し、◻長押しから繰り返し設定変更します。検知時間は桁ごとの設定が必要です。数値変更が終了したら、変更後 ◻を短押しして、「6.通信障害検知時間の変更」表示画面に戻り、もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

7.通信障害リカバリー時間の変更 通信障害リカバリー時間の設定を変更します。

- ①

リカハ	リ	タイマ			
				180	フン

 アイドル画面で、**▶**を7回短押しします。
- ②

リカハ	リ	タイマ			
				リカハ	リ

 「7.通信障害リカバリー時間の変更」表示画面になります。**○**を長押しします。
- ③

リカハ	リ	タイマ	セッテ		
				18	

 「7.通信障害リカバリー時間の変更」設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れます。この状態で、**○****○**キー1・キー3の何れか長押しすることでリカバリー時間を初期値に変更しないで下さい。
- ④

リカハ	リ	タイマ	セッテ		
				リカハ	リ

 「リカバリー」に設定する場合は、左図の状態では**■**を2回押しと設定終了です。
- ⑤

リカハ	リ	タイマ	セッテ		
				180	フン

 リカバリー時間を変更する場合は③の表示状態で**○**長押しするとプリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、**◀▶**を短押しして数値を変更して下さい。数値変更後**■**短押しで確定するとプリンクカーソルに戻ります。プリンクカーソルを**◀▶**で移動し、**○**長押しから繰り返し設定変更します。リカバリー時間は桁ごとの設定が必要です。数値変更が終了したら、**■**を短押しして、「7.通信障害リカバリー時間の変更」表示画面に戻り、もう一度**■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

8.継続時間の変更 地震速報の地震発生予想時間を経過した後、速報状態を維持する時間を変更します。

※カウントダウン後の文言繰返し秒数を設定する

- ①

ケイソ	クチシ	カン			
				20	ビョウ

 アイドル画面で、**▶**を8回短押しします。「8.継続時間の変更」表示画面になります。
- ②

ケイソ	クチシ	カン	セッテ		
				20	ビョウ

○を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度**○**を長押しします。
- ③

ケイソ	クチシ	カン	セッテ		
				20	ビョウ

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、**◀▶**を短押しして数値を変更して下さい。変更後**■**を短押しして、プリンクカーソルに戻りプリンクカーソルを移動し繰り返し**○**長押しから③と同様の操作で他の桁の数値を変更して下さい。桁ごとの設定変更が必要です。数値変更が終了したら、**■**を短押しして「8.継続時間の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度**■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

9.休止時間の変更 端末の休止時間帯を変更します。

- ①

キュウシ	シ	カン			
	22:30	-	05:30		

 アイドル画面で、**▶**を9回短押しします。「9.休止時間の変更」表示画面になります。
- ②

キュウシ	シ	カン	セッテ		
	22:30	-	05:30		

○を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度**○**を長押しします。
- ③

キュウシ	シ	カン	セッテ		
	22:30	-	05:30		

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、**◀▶**を短押しして数値を変更して下さい。変更後**■**を短押しして、プリンクカーソルに戻りプリンクカーソルを移動し繰り返し**○**長押しから③と同様の操作で他の桁の数値を変更して下さい。桁ごとの設定変更が必要です。数値変更が終了したら、**■**を短押しして「9.休止時間の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度**■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

各種設定変更の方法

10. 休止信号設定1 (ABC端子) の変更 端子A、B、Cに関して設定を行います。

- ①

キ	ウ	シ	A	B	C		
			ア	リ	ナ	シ	ナ

 アイドル画面で、**▶**を10回短押しします。「10.休止信号設定1 (ABC端子) の変更」表示画面になります。
- ②

キ	ウ	シ	A	B	C		
			ナ	シ	ア	リ	ナ

■を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度 **■**を長押しします。
- ③

キ	ウ	シ	A	B	C		
			ナ	シ	ア	リ	ナ

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、**◀ ▶**を短押しで「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後 **■**を短押しで、プリンクカーソルに戻り **◀ ▶**を短押ししてAからBに移動します。**■**を長押しして下さい。③の操作繰り返しでCも設定します。
変更が終了したら、**■**を短押しして「10.休止信号設定1 (ABC端子) の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 **■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

11. 休止信号設定2 (D端子) の変更 端子Dに関して設定を行います。

休止時間設定に従って、夜間など装置の音声出力、端末制御信号出力を休止させるかどうかを各信号毎に設定します。

- ①

キ	ウ	シ	D	オン	セイ		
			ア	リ	ナ	シ	

 アイドル画面で、**▶**を11回短押しします。「11.休止信号設定2 (D端子) の変更」表示画面になります。
- ②

キ	ウ	シ	D	オン	セイ		
			ア	リ	ナ	シ	

■を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度 **■**を長押しします。
- ③

キ	ウ	シ	D	オン	セイ		
			ア	リ	ナ	シ	

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、**◀ ▶**を短押しで「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後 **■**を短押しで、プリンクカーソルに戻り **◀ ▶**を短押ししてDから「オフ」に移動します。**■**を長押しして下さい。③の操作繰り返しで設定します。
変更が終了したら、**■**を短押しして「11.休止信号設定2 (D端子) の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 **■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

12. 音量の変更

- ①

ス	ピ	ー	カ	オン	リ	ヨ	ウ		

 アイドル画面で、**▶**を12回短押しします。「12.音量の変更」表示画面になります。
※ラインアウトの出力レベルではありません
- ②

ス	ピ	ー	カ	オン	リ	ヨ	ウ	セ	ッ	テ	イ

■を長押しします。設定画面に移動し、**◀ ▶**を短押しで音量を変更して下さい。0から15までの16段階設定でき、**◀**短押しで音量は小さくなり **▶**短押しで大きくなります。変更が終了したら、**■**を短押しして「12.音量の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 **■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

13. 起動タイマーの変更 速報を受信してから音声を鳴らすまでの遅延時間を設定します。

- ①

キ	ト	ウ	タイ	マー					
					2	ヒ	ョ	ウ	

 アイドル画面で、**▶**を13回短押しします。「13.起動タイマーの変更」表示画面になります。
- ②

キ	ト	ウ	タイ	マー	セ	ッ	テ	イ	
					2	ヒ	ョ	ウ	

■を長押しします。設定画面に移動し、アンダーカーソルが表示されますので、**◀ ▶**を短押しで数値を変更して下さい。0から3までの4段階設定が出来ます。変更が終了したら、**■**を短押しして「13.起動タイマーの変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 **■**を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

※起動タイマーが短い場合、放送システムなどが立ち上がらないことがあります。接続機器の状態等を把握確認の上、設定を行って下さい。

各種設定変更の方法

14.メッセージタイプの変更

メッセージタイプ設定変更画面では、カウントダウンの「アリ」「ナシ」を変更します。

- ①  アイドル画面で、▶を14回短押しします。「14.メッセージタイプの変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀7回短押しでも、表示します。)
- ②  ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にアンダーカーソルが現れます。◀▶を短押しして「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして「14.メッセージタイプの変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

15.LCDバックライトの変更

LCDのバックライトを常時ONするか、常時OFFするか、ON/OFF制御するかを選択します。

- ①  アイドル画面で、▶を15回短押しします。「15.LCDバックライトの変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀6回短押しでも、表示します。)
- ②  ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にアンダーカーソルが現れます。◀▶を短押しして「ON」「OFF」「CONT」を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして「15.LCDバックライトの変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

※設定内容の説明

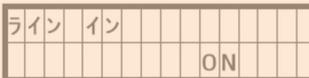
「ON」 ----- バックライトを常時ONにします。

「OFF」 ----- バックライトを常時OFFにします。

「CONT」 ----- パネル操作している間はバックライトONし、操作しない状態が5秒続くとOFFします。

16.ラインイン設定の変更

緊急地震速報の警報が出ていない待ち受け時に、ラインインから入ってくる音声信号をスピーカーに流す機能の有効、無効を変更します。

- ①  アイドル画面で、▶を16回短押しします。「16.ラインイン設定の変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀5回短押しでも、表示します。)
- ②  ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にアンダーカーソルが現れます。◀▶を短押しして「ON」「OFF」を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして「16.ラインイン設定の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

※設定内容の説明

「ON」 ----- ラインインの音声をスピーカーに流します。

A-C端子の自動OFF設定が「SP」となっている端子の信号をONします。

「OFF」 ----- ラインインの音声をスピーカーに流しません。

17.時報設定の変更

AM9時、PM0時、PM3時、PM6時の時報音声をスピーカーに流すかどうかの設定を変更します。

- ①  アイドル画面で、▶を17回短押しします。「17.時報設定の変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀4回短押しでも、表示します。)
- ②  ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にアンダーカーソルが現れます。◀▶を短押しして「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後 ◻を短押しして「17.時報設定の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度 ◻を短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

※設定内容の説明

「アリ」 ----- 時報音声をスピーカーに流します。

「ナシ」 ----- 時報音声をスピーカーに流しません。

注意！！ ラインアウト出力は行いますが、接点は連動しません。

18.テスト1設定の変更 テスト1で読み上げる震度と猶予時間の設定を変更します。

- ①

テスト1									
シント	5H		5ビ	ヨウ					

 アイドル画面で、▶を18回短押しします。「18.テスト1設定の変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀3回短押しでも、表示します。)
- ②

テスト1	セッテ	イ							
シント	5H		5ビ	ヨウ					

 ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度◯を長押しします。
- ③

テスト1									
シント	5H		5ビ	ヨウ					

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして数値を変更して下さい。変更後Ⓜを短押しして、プリンクカーソルに戻り◀▶を短押しして「ツド」から「ツカ」に移動します。◯を長押しして下さい。③の操作繰り返して設定します。変更が終了したら、Ⓜを短押しして「18.テスト1設定の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度Ⓜを短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同じ要領です。

※「19.テスト2」も同様の方法で設定を変更することができます。アイドル画面から19回▶短押しにて、必要に合わせて変更してください。

20.テスト端子制御の変更 テスト時に、各端子の信号を動作させるか否かを設定を変更します。

- ①

テスト	A		B		C
	ナシ		アリ		ナシ

 アイドル画面で、▶を20回短押しします。「20.テスト端子制御の変更」表示画面になります。(アイドル画面から▶1回、◀1回短押しでも、表示します。)
- ②

テスト	A		B		C
	ナシ		アリ		ナシ

 ◯を長押しします。設定画面に移動し、設定変更出来る箇所にプリンクカーソルが現れますので、もう一度◯を長押しします。
- ③

テスト	A		B		C
	ナシ		アリ		ナシ

 プリンクカーソルからアンダーカーソルに変わりますので、◀▶を短押しして「アリ」「ナシ」を変更して下さい。変更後Ⓜを短押しして、プリンクカーソルに戻りAからB・Cに移動します。◯を長押しして下さい。③の操作繰り返してB・Cも設定します。設定変更が終了したら、Ⓜを短押しして「20.テスト端子制御の変更」表示画面に戻して下さい。もう一度Ⓜを短押しして設定は終了です。その他の変更や破棄注意はP-9項の各作業と同様です。

困ったときは？

通信異常画面が表示された

- 1 通信ケーブルの抜け・接続状態を確認して下さい。
- 2 一度電源を落とし、モデム・ハブ・ラビットの順で電源を入れてください。
- 3 インターネット設定(IP アドレス等)を管理責任者の方がご確認下さい。
その他外部接続設定上の問題や機器自体に対する問題については、販売店若しくは弊社までお問い合わせください。

Q 機器前面のLEDはどういうときに光りますか？

A 地震速報を受信した時の制御接点A、B、Cの設定値以上で点灯します。
詳細はP24を『1.速報時端子の閾値』をご参照ください。

Q カウントダウン後の音声の変更はできますか？

A できません。1種類しか内蔵音声を持っておりません。
動作音声はP20を『緊急地震速報中画面』をご参照ください。

Q ラインアウトの出力変更はできますか？

A できません。本体の音量のみ変更可能です。詳しくは各種設定変更の音量の変更を参照ください。

Q キャンセル報を受けた時はどんな動作をしますか？

A 発報音声の途中であっても受信します。
画面は「ジシンソクホウトリケシ」の表示になり、5秒程度で元の画面にもどります。
接点出力は設定によって動作方法が異なりますので、
詳細はP25を『端子自動OFF信号の閾値』をご参照ください。

Q カウントダウン後の繰り返し回数を設定するには？

A 回数ではなくカウントダウン後の文言繰返しを秒数で設定します。
詳細はP26 『継続時間の変更』

Q 地震速報を受信し、発報中に情報が変わった場合はどうなりますか？

A 発報中に震度が高くなった場合のみ言い直しを行います。

例) 30秒前 震度4・・・

(27秒前に情報が変わった場合) ⇒ 20秒前 震度5・・・

*本器の言い直しは、発報中に10秒ごとのタイミングで受信した更新メッセージを報知します。

Q 時報・チャイム音は接点と連動しますか？

A 連動しません。(ラインアウトは出力します。)

Q 緊急地震速報受信中、放送設備は止める事はできますか？

A ボタン操作での停止はできません。
本体の電源を抜けば止まりますが、放送設備に流れている場合は放送設備のボリュームで調整をして下さい。
※テスト試験の場合のみ、右矢印ボタンで止める事が可能です。

Q 接点の出力時間は変更できますか。

A 出力時間は機器の動作時間と連動しますが、状態保持(連続出力)に設定することもできます。
詳細はP26『継続時間の変更』を参照願います。

Q 音声の閾値とは何ですか？

A 地震速報を受信した際、予測震度がいくつ以上の時に本体の音声を動作させるかという値のことです。放送設備等外部機器を動作する為の接点出力震度の設定値ではありません。

Q 休止時間の変更とは何ですか？

A 接点出力の休止時間帯のことです。接点は止められますが、本体スピーカーからの音声は休止できません。

Q 起動タイマーとは何ですか？

A 本体が発報してから放送設備等外部機器の音声を出力するまでの時間を遅らす機能です。0～3秒まで

仕様

※規格は改良により変更させていただくことがあります。予めご了承ください。

本体

品名	スーパーラビット SV
型番	SR-EQ300J-SV
本体外形寸法	壁掛 (212W×158H×45D) 据置 (212W×186H×125D)
重量	約 400g
電源	DC5V 2000mA AC アダプター使用 (入力 100V~120V)
消費電力	10W
緊急地震速報受信方式	IPv4 インターネット常時接続 TCP/IP 自動 IP 取得 固定 IP の場合は、別途ルーターが必要
Ethernet	RJ45 10Base-T/100Base-T
サーバーとの通信ポート	TCP9001 LAN→WAN
LCD 部	16 文字×2 列
内蔵スピーカー出力	8Ω 0.5W 音声設定 16 段階 MAX 時 音圧レベル 80dB(参考)
外部音声出力 RCA 式	-10dBm±3dB 600Ω (1kHv) 不平衡
外部音声出力レベル	700~800mVp-p
外部接点出力	無電圧ループ接点出力 3ch(スクリューレス端子) PhotoMOS FET(DC350V 120mA 以下) 推奨(DC280V 100mA)
地震キャンセル報接点出力	1ch(スクリューレス端子) D a 接点
トリガ解除ボタン	本体側面 TRG SW 短押
同梱物	本体 ×1台 AC アダプター ×1個 平置きスタンド ×1個 かんたん操作マニュアル ×1冊 取扱説明書(保証書含む) ×1冊

主な機能

通信障害 遠隔監視(メール・電話連絡)	24 時間 配信サーバーと本体の通信障害を遠隔監視 連続 20 分以上切断の時、メールで随時連絡 連続 30 分以上切断の時、電話で随時連絡 ※メール及び電話での連絡は、弊社営業時間内で対応
震度しきい値変更機能	音声鳴動しきい値 震度 1 から 7 任意設定 9 段階(5/6 は弱強あり) 外部制御 3ch (各端子しきい値設定可能)(解除方法選択可) あり (0~3 秒)
放送機器起動アナウンス遅延時間設定機能	あり(選択可) (1分単位) 内蔵スピーカーは鳴動 休止時外部機器連動可
緊急地震速報受信音声タイマー設定/トリガ設定機能	テスト 1/2 選択 各震度/猶予時間任意設定可能 テスト時外部機器連動可
テスト配信機能/トリガ設定機能	あり(選択可) (am9 時、pm12 時、pm3 時、pm6 時) 各警報/注意報優先
時報アナウンス設定機能	

保証書

保証規定

保証期間内に、正常なる使用状態において、製造上または部品が原因で異常が発生した場合には、弊社の責任において保証します。

保証期間内に異常が発生し、検査が必要となった場合は、保証書をご提示の上、お問い合わせ窓口にご依頼ください。

機器の検査や修理を依頼する時の脱着作業費、それらに伴う交通費および送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。

また、検査や保証修理等で使用できない期間、地震速報を受信できなかったことを原因とする一切の損害費用の補償はしません。

本製品は、登録した場所に設置した場合のみ上記事項に定めた保証をします。

また外部制御機器の間違った取付や、その他の改造等をした場合は、保証対象外となります。

下記の事項については保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

- ①ユーザー登録が行われていない場合、および、本保証書のご提示がない場合。
- ②保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合、および購入時に登録した使用者、設置住所に変更がある場合。
- ③取扱説明書に記載された内容とは異なる方法で使用した場合の、事故や故障および損傷。
- ④取扱説明書に記載されてある、注意事項の不徹底により発生した場合の、事故や故障および損傷。
- ⑤ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没）または改造し設置した場合の、事故や故障および損傷。
- ⑥本製品と併用して使う外部制御機器の異常が原因による、事故や故障および損傷。
- ⑦使用により生じた、傷や塗装などの外見上の変化、および化学薬品の付着による表面処理の、変化や変質。
- ⑧お買い上げ後の輸送や移動時の落下・衝撃などによる、事故や故障および損傷。
- ⑨火災・地震・風水害・落雷その他の天変地異、および公害・煙害・異物混入・塩害・盗難などによる、事故や故障および損傷。
- ⑩有寿命部品や消耗品の自然消耗、腐耗、劣化等により部品の交換が必要になった場合。
- ⑪故障および損傷原因が製品以外にある場合。
- ⑫消耗品および付属品。
- ⑬お客様の過失による損傷や故障があったとみなされる場合や、弊社の責に帰すことができない原因により生じた、事故や故障および損傷。

本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。

本製品の故障に起因する他への影響（本製品以外の損傷・事故や、地震速報を受信できなかったことによる損傷等）につきましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本保証書は、日本国内において使用することのみ有効です。

●本保証書は、いかなる場合においても再発行しませんので、紛失なされないように、大切に保管してください。

●本製品に関しては保証期間中においても出張修理は行いません。

●本保証書は、登録されたお客様に対してのみ有効となります。そのため、個人情報も記載されていますので、保証書の保管はお客様の責任において行ってくださいますようお願いいたします。

●本保証書は、本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●本製品の仕様、外観とも、改良等により予告なく変更する場合があります。

機器故障時の代替機器の無料貸出（郵送にて商品をお届けします。設置工事は含まれません。）

保証期間の5年、又は7年以内に機器が故障した場合、無料にて修理いたします。

本書は、記載内容の範囲で無料修理させていただくことをお約束するものです。

対象機種	品名	スーパーラビット SV	型番	SR-EQ300J-SV		
保証期間	年	月	末日	まで	製造番号	QAK

緊急地震速報のリーディングカンパニー
株式会社 J コーポレーション
総合窓口 電話 0742-53-7833



〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F
https://www.jcorp.co.jp fax 0742-53-7795